

eHomeCare 仕様詳細

eHomeCareは株式会社インテグリティ・ヘルスケアの「YaDoc」をプラットフォームにしたプログラムです。
eHomeCareをご契約いただくことで、より汎用的なツールであるYaDoc Quickも追加費用がかからずご使用いただけます。

主な機能

オンライン診療：予約・問診・決済
疾患管理：各種バイタルサイン
生活記録のデータ
閾値設定と通知機能
患者データのトレンド参照
メモ
メッセージ・ファイル送信



eHomeCare 動作環境

	医療機関	患者
OS	Windows：Windows 10以降 Mac：macOS 14 Sonoma、macOS 15 Sequoia	iOS：17.7.1 以上 Android：12.0以上
CPU	Core i5以上推奨	
メモリ	4GB以上（8GB以上を推奨）	
ブラウザ	Google Chrome 最新バージョン	
カメラ	解像度（640×480）以上（PC内蔵カメラを推奨）	
ネットワーク	実効速度 2Mbps以上（10Mbpsを推奨）	実効速度 2Mbps以上（10Mbpsを推奨）

*最新の動作環境は担当者までご確認ください。

*患者さんがiPadをお使いの場合も、iPhone向けのアプリをインストールしてご利用いただけます。（iPad専用アプリのご用意はございません。）Androidのタブレット端末には対応しておりません。

上記の動作保証環境を満たしていても、機種によっては正常に動作しない場合がございます。当社で正常に動作しないことが確認できている機種は、以下の通りです。
らくらくスマートフォン、シンブルスマホ / iPod Touch / iPad mini / Microsoft Surface / Android Tablet全般 / (HUAWEI) Android Smartphone

YaDocQuick動作環境

	医療機関	患者
推奨システム要件	実効速度 2Mbps以上（10Mbpsを推奨）	インターネット接続：Wi-Fi、モバイルデータ通信 4G以上を推奨
推奨オペレーティングシステム*	Windows / Mac OS	パソコン：Windows、Mac OS スマートフォン・タブレット：iOS、iPadOS、Android
推奨ブラウザ*	Windows：Chrome、Edge Mac OS：Chrome、Safari	Windows：Google Chrome、Edge Mac OS：Google Chrome、Safari iOS、iPadOS：Safari Android：Google Chrome
プロセッサおよびRAMの推奨要件	プロセッサ：デュアルコア2Ghz以上 （i3 / i5 / i7またはAMD相当） RAM：4GB以上	プロセッサ：デュアルコア2Ghz以上 （i3 / i5 / i7またはAMD相当） RAM：4GB以上

*最新の動作環境は担当者までご確認ください。

*最新バージョンでのご利用を推奨します。

無料の導入支援プログラムをご用意しております。

eHomeCareサポートセンター TEL.0570-05-1114（営業時間：土日祝を除く 9:00～19:00）

eHomeCare WEBサイト <http://philips.to/ehomecare-catalogue>

QRコードからスマートフォン、タブレットでアクセス可能です。



販売業者 **株式会社フィリップス・ジャパン**
〒106-0041 東京都港区麻布台1-3-1 麻布台ヒルズ森JPタワー15階
www.philips.co.jp/healthcare
睡眠・呼吸製品のお問い合わせは地域の事業所まで
※各事業所の連絡先は以下のURLで公開しています
www.philips.co.jp/SRC-Office



© 2025 Koninklijke Philips N.V.
改良などの理由により予告なしに意匠、仕様の一部を変更することがあります。あらかじめご了承ください。詳しくは担当営業、もしくはお近くの事業所までお問い合わせください。記載されている製品名などの固有名称は、Koninklijke Philips N.V.またはその他の会社の商標または登録商標です。
PN 1147498 / 250220 R5-W



PHILIPS

Healthcare

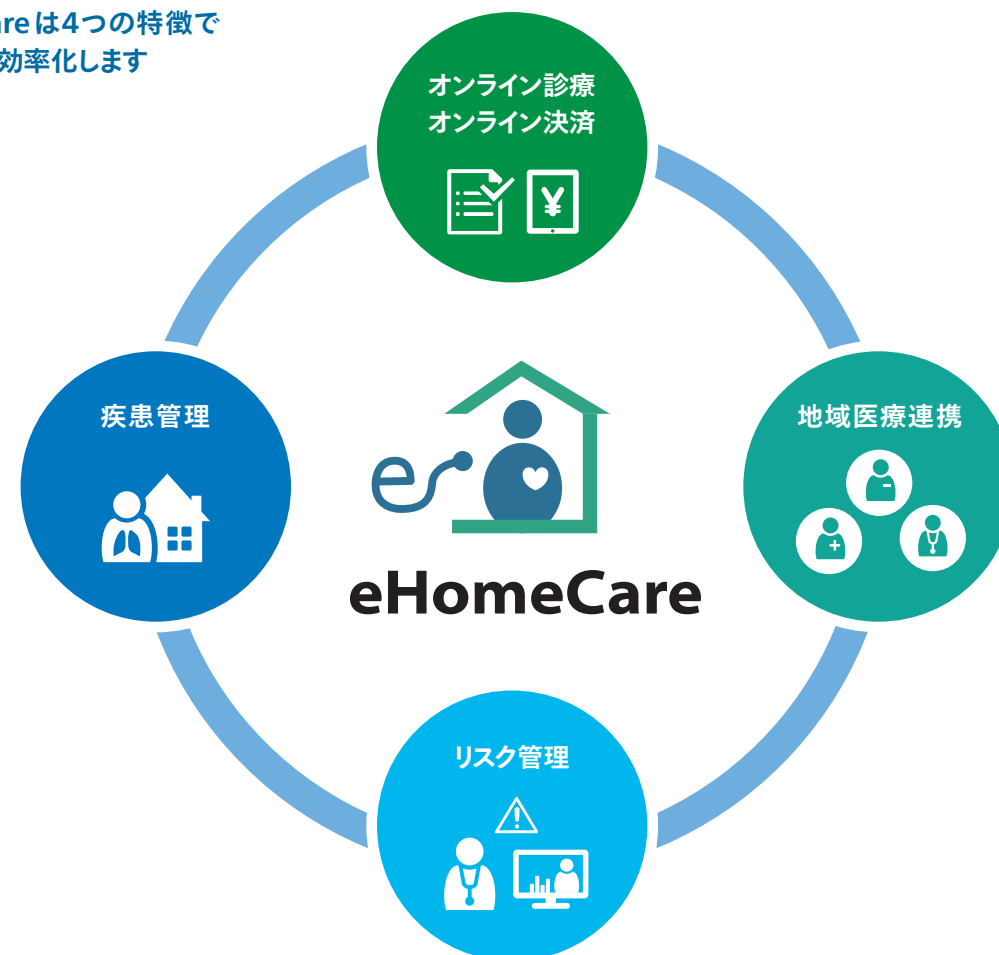
eHomeCare

オンライン診療×疾患管理の組み合わせで在宅ケアの継続をサポート

時代の変化に対応するフィリップスの新しい選択肢

フィリップスがご提供するeHomeCareは、オンラインシステムを通じて医療機関と在宅患者さんのコミュニティ構築をサポートします。診療報酬改定に伴いCPAPオンライン診療が可能となりました。医療機関と患者さんのニーズを両立できるフィリップスのオンライン診療をご検討ください。

eHomeCareは4つの特徴で
在宅ケアを効率化します



eHomeCare 4つの特徴

1. 疾患管理（患者モニタリング）による「見える化」

eHomeCareは患者さん一人ひとりが入力したバイタルサインや生活記録を集約することで、次回診療時までの空白の期間に患者さんがどのような状態であったかを見える化します。当社ケア オークストレーターと連携しており、CPAPや呼吸器などの治療器データをeHomeCare画面で確認することが可能です。

疾患管理の データ集約 機能



血圧



体温



SpO₂



脈拍



ケア オークストレーター



疾患管理による
指導の強化
治療方針決定の
サポート



eHomeCare
呼吸管理プログラム

在宅ケアをサポート

リスク管理

リスク管理による
受診勧奨
早期介入
増悪予防

オンライン診療による
遠方からお越しの患者さん
の訪問負担軽減
クレジット決済による
収益性維持

予約から決済までのフロー

予約 問診 診療 請求

初診・再診の
予約が可能

疾患に合わせ問診
をカスタマイズ

ビデオ通話/Teams
によるビデオ診療

Stripe社の
オンライン決済
機能を搭載

*クレジットカード決済以外に口座振り込み、対面時での支払いも選択可能です。

予約～請求が
スマートに

3. バイタルサインの閾値設定と通知によるリスク管理

患者さんのリスクを検出する閾値を設定することができます。閾値を超過した場合、患者さんに通知を行うことができます。

閾値設定の 機能



各種バイタルサインへの
閾値設定



患者さんや任意の
関係者に通知

4. 地域医療連携

病診連携や多職種連携を行う際のオンラインツールとしてご活用いただけます。疾患管理とあわせてより客観的なデータをもとに医療従事者のオンラインコミュニケーションを効率化します。

地域医療連携 の活用機能



画面共有



多人数参加のオンライン
ミーティング